

挑む!

日本女子フットサルリーグ初代得点王

江口 未珂^{みか}さん(23)

伸ばしたいゴールも観客も

女子フットサル界に歴史を刻んだ。

リーグを活気づけようと燃えている。

1月に日程を終えた日本女子フットサルリーグで、初代得点王としてアルコイリス神戸の優勝に貢献した。「多くの人に知ってもらえるよう、もっとシュートを打ちます」。創設1年目のリ

岡山・吉備国際大から神戸に加入したルーキーながら、昨年5月開幕のリーグ戦全6試合に出場した。序盤は息が合わずに悩んだが、先輩たちのアドバイスで吹っ切れた。「パスは気にし



1994年、鹿児島県始良市出身。小学3年からサッカー、中学1年からフットサルを始め、2017年春にアルコイリス神戸に加入した。

なくていいから、思い切り打て」

3戦目で初ゴールを挙げると一気に波に乗り、最終的に2位に6点差をつけての得点王(14点)。股関節を痛めるほど練習し、自在に操れるようになった左足のシュートもはまった。

クラブチームにいた中学時代、全日本女子選手権で神戸に完敗した。足に吸い付くような相手のボールさばきに「すすすぎる」。このチームでプレー

したいと憧れ、夢をかなえた。コンビニエンスストアの弁当工場で清掃などの仕事をしながら、夜に練習する。息抜きは、愛車の軽自動車の洗車だ。

優勝をかけた1月のプレーオフの平均観客数は500人に届かなかった。

「フットサルは室内で行われることが多く、女性が気にする日焼け、汚れの心配もなし。まずは試合を見に来てほしい」

文・写真 巖本新太郎

記者から

「何事もあれこれ迷わず、まずトライ」と語る姿が印象的。フットサル界の顔になって下さい。